

「社協」は社会福祉協議会の略称です。

社協
だより

No.165

2021年 新年号

発行: 社会福祉法人
富士市社会福祉協議会
〒416-8558
富士市本市場432-1

TEL. 64-6600
FAX. 64-6567

お元気ですか

特集 助け合う幸せ 支え合う幸せ



賀正

小林壮寛さん(松岡) 撮影



社会福祉法人
富士市社会福祉協議会
会長 井出哲夫

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

今年も皆様に寄り添い、皆様から頼りになる社協を目指して、役員一同努力してまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

お互いの多様性を理解し、ふれあいの輪が広がることを期待しております。

今年も皆様に寄り添い、皆様から頼りになる社協を目指して、役員一同努力してまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年も皆様に寄り添い、皆様から頼りになる社協を目指して、役員一同努力してまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年も皆様に寄り添い、皆様から頼りになる社協を目指して、役員一同努力してまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

年頭のあけかし



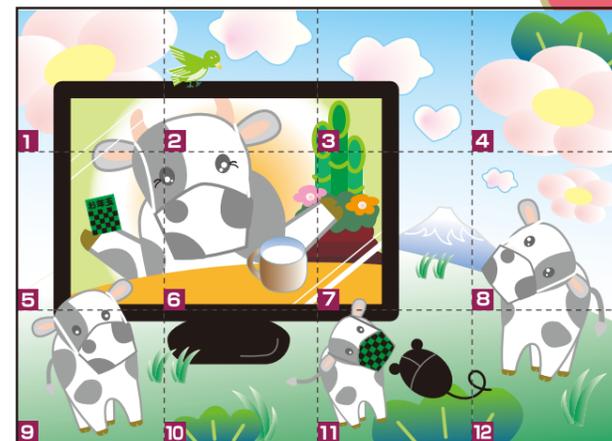
お年玉
企画

あれっ?どこかが違うぞ!?

図書カード
プレゼント!

20名様

AとBを見比べて、違っているところを5ヶ所探してハガキに答えを番号で書いて下さい。



- 締め切り日 令和3年2月26日(金)
- 応募は、はがきに ①解答 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
- 高齢社会を迎え、高齢者の集いの場「ふれあい・いきいきサロン」の運営に興味がありますか?
 (A)始めてみたい(興味がある) (B)どのような活動が聞いてみたい (C)興味がない
- 〒416-8558 富士市本市場432-1 富士市社会福祉協議会
- 正解者の中から抽選で20名様に図書カード(1,000円分)を差し上げます。
- 当選者の発表は3月15日までに発送をもって代えさせていただきます。
- 応募いただきましたはがきの個人情報は、懸賞目的及び社協事業の情報提供以外での使用はいたしません。

前回(No.164)の答えは②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑬でした。12箇所のうち5つ解答すれば正解としました。



応募総数
157通
たくさんのご応募
ありがとうございました。

たくさんの善意をありがとうございました!

令和2年8月1日~令和2年10月31日(敬称略)

- 川添多津子
- 鈴木政義(3回)
- 杉山勝
- 柚木義隆
- 井上和勇
- 株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博(3回)
- 静雲会
- 明治安田生命富士営業所(2回)
- 株式会社ジュピター厚原店
- ADEKA労働組合
- 川口晴美(愛犬:にしち)
- 本照寺 松原智善
- 静岡県飲食業生活衛生同業組合 富士吉原支部
- 公立保育園退職園長親睦会
- 全建総連静岡県建設労働組合 富士支部青年部
- 池谷須美子
- 渡辺富子
◎匿名5件

ありがとうございました



ご協力ありがとうございました

赤い羽根募金 歳末たすけあい運動

「手話」覚えてみよう!話してみよう! 72

お年玉 おとしだま

両手人さし指を左右からスッと引き寄せて上下におきます。「正月」の意味です。

右手の親指と人差し指で作った輪を、お金を袋に入れるように、左手の輪の中に入れます。

「富士市を住みやすく、人にやさしいまちにしたい」 若者の若者による富士市のためのボランティアサークル

コロナ禍の昨年の春、スパーに買い物に行ったとき、大量の買い物をしている二人の高齢者を見かけました。その時、「今、目の前にいる困った人のために、自分にできることは何かないだろうか」と思い、ボランティアチームを立ち上げました。

困っている方々の生活に私達が少しでも関わることで、暮らしや心が豊かになっていただければ、という想いで活動しています。

この先、私達の活動の輪が繋がっていき、その輪が次の世代、また次の世代へと続いていくような形にしたいと思っています。そんな思いを込めてチーム名は、Fuji(富士)Cloud(繋がる)Supply(補う)にしました。

現在の活動内容は、一人で買い物



左から3人目代表伊藤華奈さん、左から5人目副代表益子由美子さん

コロナ禍の中、誕生した買い物支援ボランティアグループF.C.Sにグループを立ち上げたきっかけや想いをお伺いしました。



利用者と囲碁を打つボランティア



に行けない方の買い物代行、一人暮らしの高齢者宅への訪問活動や居宅整理のお手伝い、独歩が困難な方の運動補助など。その他、自宅周りの草取り等も行っています。今後、高齢者に関わらず、障害のある方やシングル家庭等、生活に困っている方のための活動もしていきたいと思っています。

そんな中で、先日、一人で外出することが困難な方の買い物に同行した際、その方の思い出の場所にも寄り添いました。その時のその方の嬉しそうなお顔を見て、わたしたちもとても幸せな気持ちになりました。

今現在私達が暮らしている富士市を創ってきたくれたのは、身の回りにいる高齢者の方々です。今度は私達がお手助けを、さらに次世代が住みやすく、人と人とが繋がっていき、心が満たされる社会にしていきたいです。

F.C.Sでは常にメンバーを募集しています。SNSを見てメンバーに加わってくれた仲間もいます。ぜひわたしたちと一緒に新しい社会をつくっていきましょう！



広見地区福祉推進会 サロン交流会

9月に広見町公園にて、サロン対抗の輪投げ大会が行われました。屋外の会場で、手指消毒、ゴム手袋着用で対策をしながら、公式ルールでの白熱した輪投げ大会となりました。

コロナ禍や高齢化の進行の中だからこそ大切にしたい。

「支えること」は「支えられること」
富士市内で広がっている助け合いと支え合いの
取り組みを紹介します。

丘地区福祉推進会「こえかけ訪問」



思わず笑顔がこぼれます

丘地区福祉推進会は、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を実現するため、三世代交流七夕まつりや75歳以上の一人暮らし高齢者訪問事業(おせちの配布)などをおこなっています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、地域のみならずと交流する場面が減っています。特に高齢者の出かける機会が減り、自宅に閉じこもり、友人や近所の方と話す機会もなくなっていることから、福祉推進会として何ができるのか考え、手づくりマスクケースを持つ対象高齢者宅に訪問する事業を行いました。各町内会単位で実施し、75歳以上の一人暮らし高齢者104名に福祉推進会が手づくりしたマスクケース、推進会からの手紙、鷹岡包括・ヴィラージュ富士高齢者地域支援窓口からのチラシ、高齢者からの返信ハガキを袋に入れて配布しました。

高齢者からの返信ハガキに心配ごとや困っていることが記載されている場合は、福祉推進会から専門機関につなぎ対応していきます。

心配ごととはハガキで連絡

「高齢者のちょっとした困りごとを支える」 ～地域包括支援センターの事例～



富士南部地域包括支援センター
社会福祉士 阿部優子さん

今回は、田子浦、富士駅南、富士南地区を担当している、富士南部地域包括支援センター阿部さんにお話を伺いました。

地域包括支援センターは、富士市主催の生活・介護支援サポーター養成講座を受講されたサポーターと支援を必要とされる高齢者のつなぎ役を担っています。

サポーターは、高齢者のゴミ出し、傾聴が主な活動です。富士南部地域包括支援センターは、講座を受講され、登録された方々に対して2か月に1回集まっていたいただき、実際に支援を必要としている方の紹介をしたり、情報交換の場を作っています。

ゴミ出しの際の声かけなどで、普段と様子が違う、ゴミが出ていないなど気づきがある場合は、サポーターから連絡をいただき、対応をしています。見守りの一環にもなり、大変ありがたいです。

吉永地区福祉推進会「愛の家庭訪問」



プレゼントを手渡している様子

中高生のメッセージも配布

毎年12月に行っている「愛の家庭訪問」を今年度は、冬季は避けて、10月に開催しました。例年だと鉢植えを手にと訪問していましたが、今回は、消毒液と障害者就労支援施設ひめなの手作りマスクに変更して一人暮らし高齢者89人の家庭を訪問しました。コロナ禍のため、毎年一緒に訪問していた吉原東中、市立高校の生徒さんは参加を控えていただき、メッセージカード作成にご協力をいただきました。

吉原東中の生徒さんは手書きの手紙、市立高校の地域活性部からは、メッセージ付きの手作りの巾着をいただき、高齢者に配布しました。

配布する際は、高齢者に玄関の外まで出てきてもらい、密を避けてお渡ししました。

「ありがたい、うれしいです。」「お元気でいてください。」などと優しい声が響き渡っていました。



支援中の大村さん

ゴミ出し支援で交流



知っていますか？

交通遺児援護事業

この事業は、交通事故によってお父さんやお母さんを亡くされた児童生徒(高校3年生まで)の方を対象に行っています。事業運営は、市民の皆様から交通遺児へと寄せられた善意の寄附です。(寄附をお寄せくださった方々は、『お元気ですか』に掲載させていただいております。)

- 事業内容**
- 遺児への見舞金の支給
 - 小・中・高校入学時の祝金の支給
 - 交通遺児等育英奨学生制度
- ※詳細につきましては、下記までお問い合わせください。
- 問い合わせ** 総務係 ☎64-6600



フードドライブにご協力を!



市内には厳しい生活状況の中、職を失うなどの理由により、食事に困っている人がいます。そのような人を支援する方法として「フードドライブ」があります。フードドライブは、食料を指定の場所に持ち込んでいただき、NPO法人フードバンクふじのくにを通じて、困っている人に無償でお届けします。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

- 実施期間** 令和3年1月4日(月)～1月29日(金) 平日8:30～17:15
- 回収場所** 富士市フイランセ東館1階 ユニバーサル就労支援センター 富士市役所4階生活支援課 まちづくりセンター他
- 希望食品** 穀類(お米・麺類等)、缶詰、瓶詰、ふりかけ、インスタント食品、調味料、油、飲料、海苔など、常温で保存のきくもの。
※賞味期限が記載され、2ヶ月以上あるもの。未開封で中身が破損していないもの
- 問い合わせ** 富士市ユニバーサル就労支援センター ☎64-6969

フードロス(食品ロス)って?
食品ロスとは「食べられるのに捨てられてしまっている食品」を指します。フードドライブ活動に協力することで、SDGs(持続可能な開発目標)の一部を達成することができます。

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-----------	----------	----------------	------------------	---------------	----------------------

広告募集

お元気ですかに掲載する広告を募集しております。

問い合わせ
地域支援係 ☎64-6605

- ◆内科全般◆ 糖尿病 甲状腺 脂質代謝 内分泌 循環器 消化器
- ◆外科全般◆ 消化器 乳腺

◆診療時間
AM9:00～12:00
PM3:00～5:30(受付終了)

◆休診日
日曜日・祝日・土曜日午後
◆当院の診療は予約制です。まずはお電話をお願いします。



小松クリニック

医療法人社団 青葉会 小松クリニック
〒417-0061 富士市伝法1989-66 ☎0545-57-5225
http://www.komatsu-clinic.or.jp

ろぜ にじいろクリニック

～こころの架け橋を目指します～

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	—	○	※	○	○	○
2:00～6:00	—	○	○	○	○	○

■休診日:月曜・日曜・祝日 ※第2・4水曜のみ診療



にじいろ
予約制 ☎0545-61-2416
〒416-0953 富士市蓼原町1605(ロゼシアター駐車場南側)
●●ホームページもご覧ください
URL http://rozenijiro-clinic.com/

- 心療内科
- 精神科

ボランティアさんのこころ



時田由美子さん(右) 時田祐佐さん(左)

ボランティアは夫婦にとって生活の一部

社協で主催したボランティア講座への参加をきっかけに、現在に至るまで長きに渡りボランティアとして関わってくださっている時田祐佐さん、由美子さんが夫婦にお伺いしました。祐佐さんは、自立サロンの活動をはじめ、美化活動や環境問題へ向けた啓発活動も行っているとのこと。由美子さんは、移送ボランティアや田子浦地区福祉推進会のボランティアとしても活動されています。

ボランティアを始められたきっかけを教えてください。

(由美子さん) 両家両親の介護を終えた後、ボランティア活動を始めました。平成6年の社協主催男性自立ボランティア講座を受講したことをきっかけに、男性自立サロンの活動に参加することになり、車いすメンテナンスや料理教室の活動を始めました。平成7年から移送ボランティア活動も行っています。

(祐佐さん) 妻がボランティアを始めたのをきっかけに、ボランティアを行うようになりました。妻がきっかけです！

ボランティア活動を通しての学びや喜びはありますか。

(祐佐さん) いろいろな方との出逢いがありました。自分が普段知り合えない他分野の人と知り合うことができました。やれる人がやれるときにやるのがボランティアであると思っています。9月に行った田子浦海岸一斉ゴミ拾いも、同じ目的を持った仲間が集まってくれて非常に気持ちが良かったです。

(由美子さん) 移送ボランティア活動を行っているときは、利用者の方と一緒に同席したボランティアの方と様々な話ができるのがとてもうれしです。女性の利用者の方とは料理の話など会話も弾みます。自分自身の生活の中にボランティアがあります。体力があるうちは続けていこうと思っています。

※1 「自立サロン」は現在主に施設や病院で車いすの修理及びメンテナンス活動をおこなっているボランティアグループ。
※2 男性自立サロンは、男性の自立を目指して発足したボランティアグループで、後に「自立サロン」と名称を変更。女性メンバーも活動していた。

大淵地区福祉推進会は、地域と一緒に頑張って、「二人暮らし高齢者」を応援しております。

- ①「声かけ運動」として毎月全戸を回覧する回覧板を利用して、渡す時、受け取る時に、「一言「声かけ」することによって、元気な様子を確認する取り組みを行っています。
- ②「ふれあい活動」では、平成31年3月には弁当を届けましたが、令和2年にはコロナの関係で、弁当ではなく小学生による絵手紙、中学生による励ましの手紙を届け、「ふれあい」しました。
- ③「見守り活動」は町内会を中心にして地震、台風、大雨時に一人暮らしの高齢者の様子を見て、町内全体で助け合う共助(共に助け合う)の考えで対応することが大事だと考えています。



ふれあい活動での訪問の様子

ジャスト株式会社さんの社会貢献活動



吉原小学校室でのベルマーク等引き渡しの様子

令和2年10月12日、ジャストコ(株)さんが、2カ月をかけて収集したベルマークと布マスクを市立吉原小学校へ寄附してくださいました。

吉原小学校は、これまでもベルマーク運動が非常に活発。会社所在地に学区があるご縁で、ボランティアセンターがお繋ぎしました。

ボランティアセンターでは、企業の社会貢献活動に関する様々な提案をさせていただいています。コロナ禍でも何かできることはないか?とお考えの企業や事業所の皆さん、是非一度ボランティアセンターにお声掛けください!

問い合わせ ボランティアセンター ☎64-7100